

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部 (食品開発)		
科目名称 [英語名称]	社会と経済 [Society and Economics]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング		
科目コード	121300	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	土田 博			学位授与の方針 との関連	全学DP1, 2		
授業概要	<p>経済学を学ぶ目的は、現実の経済の理解や分析だけでなく、広く見識を養うための基礎を身につけることにあります。ここで見識とは、論理的でバランスの取れた考えと、問題に対する広い視野を指します。経済学はこうした見識を養うためのひとつの素養であり、皆さんが社会人として生きていく上で不可欠の教養です。タイムリーな経済情報等も随時授業の中に取り入れ、現在の経済状況と先人が築いた経済理論の基礎を身につけていきます。その知識によって現代社会が有する種々の課題を理解出来るようになることこそ、現代の社会人としての教養なのです。教養ある常識を学ぶ授業です。</p>						
関連する科目	「社会学」						
授業の進め方と方法	<p>配布するレジメをしっかりと読み込み、まずはオーソドックスな経済理論を理解してもらうように講義形式の授業を基本とします。その上に随時、新聞、インターネット情報等のタイムリーな経済記事を紹介し、経済理論との整合性を検証していきます。</p>						
授業計画	<p>第1回 はじめに(講義の概要と目標) 第2回 需要曲線と需要の弾力性 第3回 供給曲線と供給の弾力性 第4回 市場均衡とその変化 第5回 市場の効率性と市場の失敗 第6回 GDPの概念とGDP統計 第7回 総需要・総供給とマクロ経済の均衡 第8回 家計の消費 第9回 企業の投資 第10回 国民所得の決定と乗数理論 第11回 IS 曲線分析 第12回 LM曲線分析 第13回 マクロ経済の短期均衡 第14回 失業と労働市場 第15回 まとめ</p>						
授業の到達目標	現代の社会における経済の仕組みや課題を学び、一市民として豊かな生活を過ごせるようになる。						
授業時間外の学修	<p>テキストをしっかりと読み込むこと。新聞に目を通し、経済の動きに関心を有すること。 授業の復習を1時間程度必要とする。 レポート作成又は課題発表をする場合もある。</p>						
課題に対する フィードバック	学生が作成したレポート等は採点后振り返りを行い論評します。	評価方法		<p>毎回出席を取ります。 定期試験80点、レポート提出20点。</p>			
テキスト	なし。必要に応じて資料を配布する。						
参考書	授業において参考書を使用する予定はありません。必要に応じて図書、資料を紹介します。						
備考	特になし						